

# 核戦争の危機と被爆地

## —G7広島サミットを踏まえて

Confronting the Danger of Nuclear War:  
Hiroshima, Nagasaki, G7 Summit and the Future



先着450人

**入場無料**

《事前申込不要》

直接会場へお越しください。

近年、核戦争の危機がかつてないほどに迫っています。ウクライナ戦争開始以降、ロシアは核による恫喝を続け、ベラルーシに戦術核を移転するなど核不拡散体制を弱体化させているだけでなく、冷戦後の国際秩序そのものを覆そうとしています。2023年5月のG7広島サミットはこうしたなかで開催されましたが、核軍縮・核廃絶に進展はなく、今後の見通しは不透明です。

本シンポジウムでは、刻々と変化する国際情勢やサミット前後の議論も踏まえながら、広島と長崎、そして日本と世界がこうした国際政治の変化や核戦争の危機にどのように取り組むべきかを考えます。

日時

2023年12月10日(日)

13:30 ~ 16:45 (開場 13:00)

会場

広島国際会議場  
地下2階 ヒマワリ

広島市中区中島町1番5号 平和記念公園内

主催 / 広島市立大学広島平和研究所  
中国新聞社  
長崎大学核兵器廃絶研究センター

### ■ 基調講演者

石田 淳 (東京大学教授)

### ■ 報告者

吉川 元 (広島平和研究所特任教授)

田中 美千子 (中国新聞編集委員)

畠山 澄子 (NGO ビースポート共同代表)

### ■ ヒロシマからの発言

小倉 桂子 (平和のためのヒロシマ通訳者グループ (HIP) 代表)

### ■ コメンテーター

河合 公明 (長崎大学核兵器廃絶研究センター副センター長・教授)

### ■ モデレーター

加藤 美保子 (広島平和研究所専任講師)

## 基調講演者 *Keynote Speaker*



### 石田 淳

Atsushi Ishida, Professor, University of Tokyo

東京大学教授。1962年、東京都生まれ。専門は国際政治学。1985年、東京大学法学部卒業。1995年、米国シカゴ大学よりPh.D.取得(政治学)。東京都立大学助教授などを経て、2005年より現職。日本平和学会会長、日本国際政治学会理事長など歴任。著書には、大芝亮・古城佳子・石田淳編『日本の国際政治学②国境なき国際政治』(有斐閣、2009年)ほか。

## 報告者 *Speakers*



### 吉川 元

Gen Kikkawa, Specially Appointed Professor, Hiroshima Peace Institute, Hiroshima City University

1951年、広島市生まれ。一橋大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学、博士(法学)。広島修道大学法学部教授、ロンドン大学LSE国際関係研究センター研究員、神戸大学大学院法学研究科教授、上智大学教授を経て、2013年より広島市立大学広島平和研究所教授。



### 田中 美千子

Michiko Tanaka, Senior Staff Writer of the Chugoku Shimbun

中国新聞編集委員。1976年、千葉県生まれ。2000年、神戸市外国語大学外国語学部を卒業、同年4月、中国新聞社入社。報道部、岩国総局、東京支社などを経て、2022年3月から現職。G7広島サミットでは、関連のニュース報道に加え、事前・事後の特集記事や連載も担当した。



### 畠山 澄子

Sumiko Hatakeyama, Peace Boat Executive Committee Member

ピースボート共同代表。被爆者を船旅に招待し世界各地に被爆証言を届ける「ヒバクシャ地球一周 証言の航海」に長く関わる。ケンブリッジ大学政治・社会学部卒業、ペンシルベニア大学大学院修了、博士(科学技術史)。共著に『Navigating Disarmament Education: The Peace Boat Model(「軍縮教育 ピースボートの方法論」[英語書籍])』など。

## ヒロシマからの発言 *Message from an A-bomb Survivor*



### 小倉 桂子

Keiko Ogura, Director of Hiroshima Interpreters for Peace

8才の時、爆心地から2.4キロの牛田町で被爆。1984年、「平和のためのヒロシマ通訳者グループ(HIP)」設立。海外から広島取材に訪れた人びとの通訳やコーディネートを行う。広島市民賞(2005年)、谷本清平和賞(2013年)を受賞。G7広島サミットでは、被爆者代表として各国首脳およびウクライナのゼレンスキー大統領に英語で被爆証言を行った。

## コメンテーター *Commentator*



### 河合 公明

Kimiaki Kawai, Vice Director, Professor, Research Center for Nuclear Weapons Abolition, Nagasaki University

長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)副センター長・教授。専門は国際人道法。長崎大学大学院多文化社会学研究科博士後期課程修了、博士(学術)。戸田記念国際平和研究所主任研究員等を経て、2023年4月より現職。2017年7月の核兵器禁止条約交渉会議に市民社会の一員として参加し、核兵器廃絶日本NGO連絡会で事務局を務めた。

## モデレーター *Moderator*



### 加藤 美保子

Mihoko Kato, Lecturer, Hiroshima Peace Institute, Hiroshima City University

広島市立大学広島平和研究所専任講師。学術博士(北海道大学)。北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター特任助教を経て2021年4月より現職。専門は、現代ロシア外交、北東アジア地域研究。北東アジア学会理事(2020年～現在)。近著に「現代ロシア外交」(油本真理・溝口修平編『現代ロシア政治』法律文化社、2023年に収録)などがある。



■ お問い合わせ先

広島市立大学広島平和研究所

TEL : (082)830-1811 FAX : (082)830-1812

Eメール : office-peace@m.hiroshima-cu.ac.jp

